

令和2年9月15日(火)
武豊町役場 全員協議会室
9時55分～11時30分

委員の出欠席は別紙のとおり

【開会】

1.町長あいさつ

本日はご多忙のところ「令和2年度 第1回たけとよみらい会議」にご出席を頂き、誠にありがとうございます。本町では平成27年度に「武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少や地域経済の縮小にどう対応していくか、このみらい会議委員の皆様からご意見を頂戴しながら、様々な施策を推進してまいりました。

本日の会議では主に、この「武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の第2期となります令和3年度から7年度の5年間で目指すべき方向性について、人口動態やアンケート結果を参考にしながら、みなさまと練り上げていければと考えております。

本日はお時間の許す限り、それぞれのお立場や専門的見地から忌憚のないご意見を頂戴し、今後の武豊町の更なる発展のため、どうか皆様のお力添えをいただきますようお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

2.委嘱状交付

- ・新委員に委嘱状を交付

3.委員等の紹介 資料1

- ・新委員の自己紹介

4.議事

- ・記録用の写真撮影、議事録作成のための音声録音について説明

(1) 第1期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略 最終評価 資料2・3

【事務局】

平成27年度に策定された「第1期 武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、毎年、各施策の進捗率を重要業績評価指標(KPI)の達成度により検証し、必要に応じて見直しをしてまいりましたが、今年度が計画の最終年度であることから、第1期の総括的評価を資料2にまとめています。

基本目標の達成状況についてですが、第1期総合戦略においては計画全体の柱として4つの基本目標を掲げており、それぞれに数値目標を設定しています。基本目標3の「子育てしやすさに対する満足度」については数値が上昇しているものの、基本目標1の「町内における雇用者数」と、基本目標4の「今後も武豊町で暮らしたいと思う町民の割合」については当初の値よりも減少しており、結果として目標値をクリアできた基本目標はありませんでした。

今回の結果を受け事務局としては、目標値を達成した基本目標が0であったことについては、「全体的に目標設定が高すぎたのではないか」、「数値目標と施策・事業との関連性が弱い部分があり、事業に取り組んだ効果が上手く指標に表れなかったのではないか」大きくこの2点が要因と考えております。このことから、人口等の推移や地域経済の客観的なデータ、各種アンケート調査等の主観的な意見を踏まえ、基本目標を達成するための施策について十分な洗い出しを行い、数値目標の適切な設定について再考していく必要があると考えております。

続いて KPI（重要業績評価指標）の結果についてです。資料3にてそれぞれの基本目標につながる施策や事業、KPI が一覧で示してありますので、あわせてご覧ください。

KPI は成果指標とは異なり、目標値の達成を目的とするだけでなく、目標に対し順調に事業が進められているかを測る指標となるものであり、数値の変化から要因分析などを行い、事業の改善を図る側面もあります。ここでは、KPI の項目ごとに「A B C D」の4区分で結果を分類しまとめていますが、第1期の KPI 全 35 項目のうち、Aが5、Bが11、Cが15、Dが4となりました。B以下は結果として目標値に届いていない KPI となります。

この結果を受け事務局としては、第1期の KPI の中には事業の改善(PDCAの Action (改善)) がしにくいもの(改善の余地があまりないもの)、また、KPI の数値の増減が外的要因に大きく左右され、一見事業の進捗が図られていないように捉えられてしまうもの(事業を推進していてもその効果が外的要因と相殺されているもの)がありました。また、基本目標と KPI の関連性自体が弱く、事業を進めても KPI の上昇になかなか反映されないものがありました。加えて、計画年度途中で目標値を上方修正したものの、結果的に修正後の目標値を達成できなかったものや、上方修正した後に数値が減少してしまった項目もみられました。

こうしたことから、第2期の総合戦略の策定に向けて、KPI の運用方法、目標設定について全面的な見直しが必要であること、また、一時的な数値の上昇などで頻繁な KPI の修正はせずに運用した方が好ましいのではないかと考察しております。

加えて、この総合戦略自体が複数の分野にまたがって検討・検証が必要な施策が多いため、関係課の中堅職員が参画する部署横断的な検討組織（プロジェクトチーム）を立ちあげ、推進体制の強化を図っていきたいと考えております。

4つの基本目標の成果指標と35項目のKPIともに厳しい結果となっておりますが、6年間の運用の中で改善すべき点も出てきましたので、次期総合戦略に活かしていきたいと考えております。説明は以上です。

【委員長】

それでは資料2・3につきまして、それぞれご意見、ご質問がありましたらよろしくをお願いします。

【委員】

評価がD項目であった事業について、具体的にどのような取り組みをされたかを教えてください。

1点目、ちたしんの夢サポート事業について、以前委員からも「是非活用してほしい」とのお話もあり、事務局も「採択団体に問い合わせる」と回答されていたと思います。結果としてKPIが0であった理由はありますか。

2点目、Wi-Fi構築事業について、役場庁舎にfree Wi-Fiが設置されており、来庁者も利用されている方がいらっしゃるかと思いますが、このKPIの数値に含めなかったのは理由がありますか。

3点目、婚活応援事業について、行政主導での婚活事業については実施が難しいので、他団体で実施する婚活事業について支援していくとのことでしたが、支援の仕方についてこれまでの具体的な取り組みを教えてください。

【事務局】

1点目について、ちたしんの夢サポート事業の2019年度採択状況をみると、武豊町の団体が上半期2件、下半期1件が採択されております。町からも提案型協働事業の申請について声掛けもさせて頂きましたが、協働事業として実施するよりも地域主体での活動を重視したい、また事業所としての活動として実施していきたいとの団体の意向もあり、結果的に提案型協働事業としての申請には至っておりません。

2点目について、第1期総合戦略の基本目標(2)-②-ⅢのKPIに掲げられているWi-Fi構築事業については、主に観光誘客を目的としたKPIの設定となっているため、役場庁舎のWi-Fiアクセス件数については見込んでおりません。

3点目について、平成30年に商工会青年部が実施した婚活事業において、事業実施前に商工会青年部からもご相談があり、庁舎内をはじめ各施設にチラシを設置するなどの広報に協力させて頂きました。婚活事業については民間事業者において様々な展開がされるものと考えております。事業実施の際には町に情報提供頂ければ、町としてできる協力について検討していきたいと考えております。

【委員】

C評価であった KPI についてお尋ねします。観光案内所の紹介件数があまり伸びなかった件について、町外から主に車で武豊町に来られる方については、基本的にスマートフォンなどで観光情報を検索されてからいらっしゃると思いますが、公共交通機関で来町される方にとって観光案内所の位置が分かりにくかったこともあるのではないかと思います。他地域における観光地の観光案内所は、主に駅前に設置がされておりますので、そのあたりの見解を伺いたいです。

また、ゆめたろうスマイルマラソン、たけとよウォーカーの参加者数が減少傾向にあることについてです。私の考察ですが、同じようなイベントが他の地域でも行われていることが要因かと思いますが、ゲストの方の認知度によっても参加者数が増減するかも考えています。そのあたりの見解を伺いたいです。

最後に、「健康マイレージ事業」についてです。KPI を「Myca の発行人数」が KPI として設定されておりますが、Myca の発行には最低でも 3 か月かかります。そのため、KPI として設定するのであれば「事業への参加者数」とした方がよいのではないかと考えております。

【事務局】

1 点目、観光案内所の紹介件数が減少している件についてですが、昨今観光目的で来町される方は、事前にスマートフォンで検索してから訪れる方が主流となっており、観光案内所に直接訪問される方が減ってきていることは把握しております。昨年度、観光協会の事業において、武豊町の観光案内板を駅前に設置させて頂いたところですが、昨今のインターネットが主流となってきた時代において、何かしら工夫をしながら誘客を図っていきたいと考えております。

2 点目、ゆめたろうスマイルマラソンの参加者数の減少傾向についてですが、当日の天候や、地域の他のイベントとの日程が重なったことによる影響が大きいと考えております。こういった数値の変動が外的要因に左右されやすい KPI については、設定を改めるなど検討していきたいと考えております。

3 点目、Myca の発行件数が伸び悩んでいる件についてですが、このような現状を踏まえて、参加者へのアンケート調査を実施しております。また、目標を達成した参加者に粗品を渡すなど、少しでも参加者数が増える努力をしているところです。おっしゃるように、KPI の設定方法についても再考していきたいと思います。

(2) 国から交付金を得て実施した事業の効果検証について 資料 4・5

【事務局】

「醸造文化を核とし、歴史的な価値を活かすまちづくり事業」は、平成 28 年度に国から地方創生加速化交付金として事業費の全額をいただいた事業です。

主な事業内容として、観光協会・観光ガイドボランティア協会、蔵元、地域の旅行代理店らの協力により、地域交流施設を拠点とした観光モデルコースを3コース作成したこと、また、たけとよめしのパンフレットや、みそ蔵公開イベントのチラシを印刷・配布し、町外からの誘客と交流人口の拡大を図りました。

この事業の KPI は、「①観光案内所観光紹介件数」と「②地域交流施設の味の蔵たけとよの売上金額」の2つを設定しておりますが、最終的な KPI の目標値の達成状況につきましては、①については達成ができませんでした。②は売上金額が目標値を達成しており、順調に誘客が図られているものと考えられます。

事業の今後についてですが、交付金事業としては終了となるものの、現在事業が進められております「知多武豊駅東土地区画整理事業」とも連携しながら、サイン看板やサイネージの設置など、駅周辺の魅力を高めつつ、さらなる周遊性を高める取組を推進していきたいと考えております。

続いて「日本一元気な『知多半島』広域観光推進プロジェクト」は、平成 29 年度に国から地方創生推進交付金として事業費の2分の1をいただいた事業で、知多5市5町の自治体や商工会などで構成する「知多半島観光圏協議会」が実施している事業です。

この事業は、スマホでアプリをダウンロードしたうえで、知多半島5市5町の観光施設や飲食店などを巡りポイントを集めることで、お店から食事券やプレゼントがもらえるというもので、知多半島への誘客と地域経済の活性化を目的としたものです。

この事業の KPI は、「①知多半島全体の観光客入込数」と「②スタンプラリー参加者数」、「③知多半島観光圏協議会事業への協力店舗数」の3点が設定されておりますが、いずれの項目も目標値を達成いたしました。

こちらが交付金事業としては令和元年度をもって終了となりますが、「ステップ」に掲載されるなど、好評のため今後も事業継続していく予定と伺っております。また、ご承知のとおり、このコロナ禍におきましては、飲食店を中心として売上が減少するなどしております。今後は新たな誘客手法についても検討していく必要があると考えております。説明は以上です。

【委員長】

このことについて、何かご意見・ご質問はございませんか。(意見なし)
無いようですので、ここで一旦休憩をはさみたいと思います。

----- (5分休憩) -----

(3) 第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定に向けて 当日資料

【事務局】

令和3～7年度の5年間の計画期間とする「第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、人口動態やアンケート調査の結果から、方向性をお示しさせていただきます。

- ・町の総人口については、いまだ増加傾向にあるものの、伸び率は低調になってきている。また、年間約100人のペースで外国人が増加しており、定住人口としては既に減少している可能性がある
- ・自然増減数については、平成29年から死亡数が出生数を上回っており、自然減傾向が進行している
- ・合計特殊出生率については、出生数の減少に伴い、近年は国・県の平均値以下に
- ・社会増減数については、年により差はあるものの、増加傾向を維持
- ・社会増減を10歳階級別・性別で見ると、20歳代女性が転出超過傾向
- ・過去5年間の転入元・転出先については、転入は南知多町、半田市、美浜町の順に多く、転出は東京都、名古屋市、神奈川県の順が多かった
- ・町内総生産については、町内の製造業の業績による要因が大きい
- ・町内在住者は、製造業従事者が3分の1を占めている
- ・企業・事業所数、従業員数ともに減少傾向にあり、人材不足感が高まっている
- ・女性の労働力率は、20～34歳の就業率が国、県の平均値に比べ低い
- ・企業・事業所向けのアンケート結果から、ワークライフバランスへの理解があまり浸透していない傾向が読み取れる
- ・各種アンケート結果より、8割以上の町民が「武豊町は住みやすい」と回答している

これらのデータやアンケート結果を踏まえ、第2期総合戦略の基本目標として、

- ・基本目標1 若者や子育て世代に選ばれるまちになる
- ・基本目標2 人を引き寄せ、地域経済を活性化させる
- ・基本目標3 次世代を育て、持続可能なまちをつくる

以上3つの基本目標を第2期総合戦略の柱としていきたいと考えておりますが、みらい会議の委員の皆様からも、ご意見・ご提案を賜りたいと考えています。

【委員長】

ただいま事務局より説明がありましたが、第2期総合戦略の策定にあたり、各種データ、アンケートの結果を整理した上で、根本的なところに立ち戻って、もう一度組立てていこう、という意図であると思います。本日は様々なお立場の方がおみえになっていますので、感想やご意見・ご質問、現状認識について伺います。

【委員】

愛知県においても、令和2年度を始期として「第2期愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しております。観光の分野等で知多地域内の広域的な連携を図っているようですが、他の分野におきましても広域的な連携が必要になってくるかと思っておりますので、私からも力になればと考えております。

【委員長】

ありがとうございます。それでは他にご意見、ご質問はございますか。

【委員】

外国人の人口が増えてきているとのお話がありましたが、現在外国人の人口は何人ぐらいいますか。

【事務局】

約1,200人です。人口約43,000人のうち約3%程度です。

【委員】

隣の半田市も同様に外国人の人口が非常に増えているそうです。この外国人口の増加が与える影響に関心を持ちました。

また、このコロナ禍において個人消費が落ち込んでいる状況です。金融機関という立場から申し上げますと、顧客の状況をいかに把握するかに力を入れているところですが、一つの大きな波は今年末頃かと捉えております。

【委員長】

ありがとうございます。それでは、他にご意見、ご質問はありますか。

【委員】

武豊町内には日本福祉大学の学生の方が多く下宿しておりますが、個人的にこの日本福祉大学の学生をいかに巻き込むかが重要だと考えております。いま武豊町と日本福祉大学で連携して何か取り組んでいる事業はありますか。

【事務局】

包括連携協定に基づく事業など、主だったものをご紹介します。防災マップや町職員の採用パンフレットについて、日本福祉大学の学生の方に意見を聞きながら作成をしております。また、総合計画の審議会や環境の分野における会議においても日本福祉大学の教授の方に参画して頂いており、様々な分野で連携しております。

【委員長】

ありがとうございます。それでは他にご意見、ご質問はございますか。

【委員】

先ほど中堅職員が参画するプロジェクトチームを立ち上げていくとのお話がありましたが、次期総合戦略を推進するうえで、予算が無いとなかなか推進していくことも難しいかと思えます。次期総合戦略に対する予算の考え方について教えてください。

【事務局】

プロジェクトチームについては、予算をつけて実行していく組織ではなく、どうしたら推進が図れるかを検討する「推進組織」としての位置付けを考えております。しかしながら委員のおっしゃるように、総合戦略を推進していく上で、複数の所管課にまたがって実施していく必要のある事業の提案も出てくる可能性がありますので、プロジェクトチームの会議において所管課についても検討を行い、調整を図っていきたいと考えております。つきましては、次期総合戦略に記載される事業については、ある程度予算も含め実施の担保があるものとしてお考えいただければと思います。

【委員】

次期総合戦略においては、若者と女性がキーワードになってくると思えます。先ほどおっしゃっていたプロジェクトチームには是非、若い方と女性の方も積極的に起用して頂きたいと思えます。

【事務局】

プロジェクトチームについては、関係する課において主に実務を担当している中堅職員が参画しておりますが、若い職員や女性職員、町外に住む職員などを人選して進めております。

【委員長】

他にはよろしいでしょうか。それでは議題(3)については以上となりますので、9月30日(水)までに、「みらい会議委員の提案」のご提出をよろしく申し上げます。

前回計画の評価を踏まえて次期計画を組立てていくのは「フォアキャスト」と呼ばれる手法になるかと思えますが、今回の事務局が意図しているのはゴール(目標)に向けてどんな施策を行うべきかを考える「バックキャストイング」と呼ばれる手法になるかと思えます。どんなささいなアイデアでもいいので皆さんで持ち寄って、新しい計画を作っていければと思います。

それでは、全体を通して何かご意見はありますか。

【委員】

現状コロナ禍において、この先の見通しが非常に見えづらい状況になっています。今回の計画策定スケジュールが次回11月に素案を確認し、12月にパブリックコメント、来年3月に計画策定となっておりますが、先ほど金融機関の方からもお話があっ

たように、愛知県内の商工会でとったアンケートからも、12月が一つのヤマだということが言われております。この12月の状況乗り越えてから一度新たな計画の方向性について再確認をしてもいいのではないかと思います、いかがでしょうか。

【事務局】

今年度中に次期計画を策定することは変わらないのですが、ご意見のとおりこのコロナ禍の影響も考慮しながら、策定スケジュールについても考えていきたいと思えます。

【委員長】

ありがとうございます。他に全体を通してご意見、ご質問はございますか。

【委員】

先ほど「人材確保」という課題が掲げられておりましたが、「雇用の確保」という面も盛り込んで頂くようご検討頂ければと思います。

【委員長】

ありがとうございます。それでは他にご意見、ご質問はございますか。

【委員】

個人的に、自分たちと同じ年齢層の女性の流出超過という点が気になりました。「自分はどんなまちに住みたいのか」といった当事者目線での意見が大事になると思うので、そのあたりを踏まえて宿題を考えたいと思えます。

また、「ワークライフバランス」という言葉は、自分が学生時代から当たり前に聞いてきた言葉でしたが、まだまだ浸透していないという現状に衝撃を受けました。幅広く様々な世代の方に理解を深めて頂けるような、そんなご提案ができればと考えています。

【委員】

日本の人口減少、少子高齢化という大きな課題に対して、我々高齢者世代も真剣に考えていかねばならないと考えております。

【委員】

現在、南知多町、美浜町からの転入者が多いとのことですが、名古屋方面からの転入者も増えてくれればよいと思えます。武豊町の場合、知多半島北部に比べると土地の単価が低く、特に若い世代にとっては手ごろな価格で購入できるため、マンションより戸建て住宅を希望する方にとっては非常にメリットがあると考えております。武豊町の場合、富貴西側や祠峯、梨子ノ木地区の区画整理事業を進めてきましたが、こういった区画整理事業に加え、雇用を創出するような施策も考えていければと思います。

これからは移住を考えている方に対して、武豊町がどんなメリットを提示できるかが重要だと考えておりますので、是非次期総合計画、総合戦略にそういった視点を盛り込んで頂ければと思います。

5.その他

(1)今後のスケジュールについて 資料6

【事務局】

今後のスケジュールについてご説明します。令和2年度第2回たけとよみらい会議は11月9日(月)に開催を予定しております。委員の皆様には改めてご案内させていただきます。次回の主な内容ですが、委員の皆様にご依頼いただいた「みらい会議委員からの提案」を検討をし、素案としてご提示させていただきたいと考えております。その後、次期計画のパブリックコメントを12月に約1か月間実施し、2月上旬に開催予定の第3回みらい会議にて最終案をお示しさせていただきたいと思っております。

なお、皆様に委嘱させて頂いているみらい会議委員の任期は、令和2年度末までとなっております。次期みらい会議において新たに委員になれる方については、来年2月上旬の第3回みらい会議までに選考し、ご提示させていただきます。次期みらい会議委員の事務局案としては、なるべく計画期間の5年間、継続して委員をお願いできる方で、例えば総合計画の策定にあたり「まちづくり会議」の公募委員として参加して頂いている、まちづくりに関して関心の高い若い世代や子育て世代の方。また、働き方改革、女性の活躍推進について分野に精通している方を想定しております。

今後のスケジュールについては以上になります。

【委員長】

ありがとうございました。最後に私から2点今日気付いたこととお話しさせて頂き、まとめとさせていただきます。

1点目、コロナ禍において、リモートワークなどが急速に普及するなど、働き方が大きく変化しています。東京の方でもオフィスを引き払ったり賃貸の面積を減らしリモートワークに切り替えているとのお話も聞いております。あまりコロナ禍を悲観的に捉えず、いかに武豊町が新しい働き方や暮らし方を提示できるか、ピンチをチャンスに変えていけるかが重要ではないかと考えております。

2点目、委員からもお話がありましたが、若い人や女性が当事者の目線で考えることが大事だと思います。これは別の市町での話ですが、1,000万円の予算を付けて若者の提案を実現するという事業をしているのですが、20人の定員に対し、このコロナ禍において50人の応募があったそうです。こういった話も含め、自分たちが今住んでいるまちでこれから暮らしていくにはどうすればいいのか、自分たちで考えて提示していくことは大切ですし、潜在的なニーズもあると思っておりますので、ぜひまちづくりに上手く巻き込んでいく手だてを、予算化も含めご検討頂ければと思います。

それでは、本日の議題は全て終了となります。ご協力ありがとうございました。

・町長あいさつ

委員の皆様のご意見、加藤委員長のアドバイスも是非今後の参考にさせて頂きたいと思います。

本日は、各分野に精通しておられる皆様ならではの慎重かつ多角的なご検討と、大変貴重なご意見をいただいたことに、お礼を申し上げます。計画をつくることが目的ではなく、この計画が掲げる目標をいかに達成していくかが大切ですので、この計画が最終的に目標を達成できるか、最後まで見守って頂ければ幸いに思います。

コロナ禍において、ピンチをチャンスにというお話も頂きました。また、若い人など様々な世代の方が当事者目線で考えること、とても大切だと私も感じております。様々な切り口があるかと思しますので、今後ともよろしく願います。

皆様のお力添えを賜りながら、よりよいまちづくりを進めていきたいと考えております。本日は大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。

【閉会】